

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

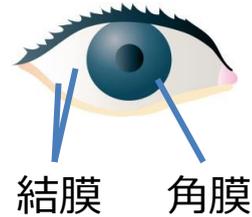
流行性角結膜炎(はやり目)が警報レベルです！

熊本市における第33週(8月10日～8月16日)の定点医療機関あたりの流行性角結膜炎患者報告数は、6.40人(定点数5ヶ所、患者報告数32人)で、先週(定点あたり8.80人)より減少しましたが、警報レベルの値です(警報開始基準値8.00、警報終息基準値4.00)。一度かかってよくなっても、別の型のウイルスに感染してまた症状が出る場合があるので、油断せず感染予防をしっかりと行いましょう。

【流行性角結膜炎(はやり目)の特徴】

アデノウイルスによる疾患で、潜伏期8～14日の後、急に発症します。症状は、まぶたが腫れる、涙が出る、目やにが多くなる、耳前リンパ節が腫れる、などがあります。角膜に炎症が及ぶと、角膜が濁ることがあります。季節としては、夏に多く、幅広い年齢層に見られます。

治療は、対症療法として、抗炎症剤の点眼などを行います。



【感染予防のポイント】

アデノウイルスはとても感染力が強く、ウイルスに汚染されたティッシュペーパー、タオルなどに触れるなどして感染するので、流水と石鹸で手を洗いましょう。家族に患者がいる場合は、特に、次の点に注意をしましょう。

- ・ 家族内では、目やにや涙で汚れそうなタオル、枕などの共用は避けましょう。
- ・ 眼をさわったら、すぐに流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。
- ・ 入浴は家族内で最後にするか、入浴後の湯を交換しましょう。入浴後の残り湯は洗濯などに使わないようにしましょう。

期 間		平成27年 第32週		平成27年 第33週	
		8/3～8/9		8/10～8/16	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	1	0.04
RSウイルス感染症	➡	2	0.13	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	3	0.19	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	27	1.69	34	2.13
感染性胃腸炎	流行中 ➡	70	4.38	63	3.94
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	2	0.13
手足口病	流行中 ➡	80	5.00	76	4.75
伝染性紅斑(りんご病)	➡	2	0.13	4	0.25
突発性発しん	➡	9	0.56	4	0.25
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	29	1.81	20	1.25
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	8	0.50	2	0.13
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	流行中 ➡	44	8.80	32	6.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	4	0.80	8	1.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00